

決算審査特別委員会 全議員で「成果」をしっかりと審査！

9月定例会会期中の9月15日、16日議員全員で構成する決算審査特別委員会を開催し、令和元年度決算について審査を行いました。
委員長に飯田良一委員、副委員長に石渡悦子委員が選任されました。
ここでは質疑の一部を要約してお伝えします。

詳しい内容は
こちらの録画中継から→



飯田良一委員長

「一般会計」

寄附金の増額要因は

菅澤環委員 ふるさと寄附金が前年度より増額になっているが、その要因は。財政課長 ふるさと寄附金というものがメディア等で色々と取り上げられた結果、認知度が上がり、寄附件数増加につながったのではないかと推測しています。また、兼ねてから子育て環境が整っていることなど、町のイメージアップを図っていることから町の知名度も上がっていることが考えられます。

整備されたものは

菅澤環委員 観光地魅力アップ整備事業補助金で整備したものは。産業経済課長 多古藩陣屋跡観光トイレ、日本寺と多古藩陣屋跡に地図型案内板を整備しました。

防犯カメラの設置状況は

行橋千春委員 防犯カメラの設置台数と場所、今後の設置予定は。総務課長 令和元年度は多古台バスターミナルに1台設置しました。また、令和2年度は病院の通りとのT字路交差点に設置をして既に稼働しています。

平日運行開始からの推移は

菅澤環委員 平日のデマンドタクシーの利用状況は。企画空港政策課長 開始した令和元年7月以降、前年度1日あたりの利用者を全て上回っており、増加がみられています。

データの活用方法は

菅澤博隆委員 農業センサスで集めたデータの活用方法や活用事例は。産業経済課長 農業センサスだけではなく、県が取りまとめたデータ等色々ありますが、政策立案、あるいは制度設計をする上で活用することがあります。

移住コーディネーターの 今後は

土井秀敏委員 移住コーディネーター

介護保険事業会計

給付対象者の経済的実体は

石渡悦子委員 特定入所者介護サービス費が700万余増額されているが、この補足給付を受けている方の経済的実体はどうとらえているか。保健福祉課長 低額所得者の方に給付をしている中で、かなりの人数の方が対象となっていると感じています。

後期高齢者医療会計

滞納状況の詳細は

石渡悦子委員 収入未済が増えているが、件数や事情、高齢者の生活実態は。住民課長 納付忘れをしていた方19人、無年金の方2人、担保に入っている徴収不可という方3人、年金の基準以下の方2人、合わせて26人となっています。また、滞納していた方がお亡くなりになった関係で収入未済が増えていると考えられます。

の今後の活動の方向性や計画は。地方創生課長 現在もですが今後も引き続き、移住希望者の相談業務、実際に移住してきた方と地域の橋渡し、移住者と呼び込むためのPR活動に協力していただきたいと思います。

防災対策は

佐藤利治委員 自主防災組織備品の詳細は。総務課長 令和元年度は次浦区、船越区が自主防災組織となり、次浦区には毛布、血圧計、船越区にはガソリンの携行缶、発電機をお渡ししました。佐藤利治委員 備蓄の詳細は。また今後コロナ感染予防等を踏まえた避難所対応の備えは。総務課長 現在のところ約80種類の備蓄があります。コロナ対策としては、消毒液、フェイスマスク、簡易テント、間仕切り、段ボールベット、それらを収納する防災倉庫の購入をさせていただきます。

財政調整基金の適正額は

石渡悦子委員 令和元年度の財政調整基金は12億7400万円の残高となっているが、町として適正額についての考えは。財政課長 今後、成田空港の機能強化、圏央道関係、コロナ関係、昨年度受け

多古中央病院 事業会計

福祉サービス収益の 増額要因は

土井清司委員 医療収益が減少する中、福祉サービス収益が増となっているが、要因は。病院事務長 病院の新改革プランに基づいて平成29年度から様々な経営改善に着手しており、その効果が、福祉サービス部門で徐々に現れ始めたかと推測しています。

水道事業会計

多古水の売り上げ状況は

菅澤博隆委員 多古水の収支内容は。生活環境課長 令和元年度末時点で残数がある中ではありますが、水質検査やポスター、チラシの諸経費を含めまして、20万円ほど支出が多かったということになります。

勝又一徳委員 多古水の販売経路の状況は。生活環境課長 町内、町外でも販売経路の拡大をしています。今後も販売拡大に努め、町のPRに繋げていきます。

ことについて助成金を出したものになります。

学校給食センター 事業会計

今後の滞納処分は

石渡悦子委員 滞納が150万円余あるが、今後徴収についてどう進めているのか。学校給食センター所長 近隣の給食センターでも課題となっている問題であるため、様々な情報を得ながら、今後も滞納を減らす努力をしていきたいと思えます。

国民健康保険 事業会計

実質収支の黒字要因は

石渡悦子委員 国保税の収納率が下がっているのに対して実質収支が黒字である要因は。住民課長 広域化により県から医療給付費の部分が交付金で入ってくるようになったことが大きな要因です。

現物給付へ見直しは

石渡悦子委員 高校生医療費の現物給付の見直しは。子育て支援課長 県に要望等は出している状況ですが、現物給付に変えることは厳しい状況です。今後も引き続き要望はしていきたいと考えています。

雨風に対応する工夫は

菅澤久委員 レインボーステージの補修工事にあたり、雨風に対応するため工夫したことは。都市計画課長 町のシンボルである象徴的な形を残した結果、前回と同じ構造でやらせていただきました。また、工事費については全額保険で賄っています。

助成金の内容は

橋本孝之委員 常磐小学校閉校助成金の内容は。学校教育課長 閉校行事としては、記念碑が建てられたこと、記念誌の編纂がされたこと、記念式典が行われた